



## 4月の園だより NO. 2



### 新しいスタートにあたり

#### ～こどもをまんやかに～

#### **ご入園、ご進級おめでとうございます。**

線路沿いの桜も見ごろを迎え、保育園の園庭では、子どもたちが植えたちゅうりっぷが咲き、うれしそうに風に揺られています。新年度は新入園児 9 名を迎え、進級児 44 名とともに 53 名でのスタートとなります。これから始まる新しい生活が、子どもたちにとっても保護者の皆さまにとりましても安心できる、楽しいものとなりますよう取り組んでいきたいと思ひます。

5 月から新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザなどと同じ 5 類感染症に移行します。そうすると、様々な体制が変わっていくと思ひます。それに伴ひ保育園では、4 月より健康観察表の記入をしていただくことはなくなりますが、コロナ禍の生活で身についた感染予防対策は、引き続き行っていき、健康に過ごしまししょう。

当園では『感謝と思ひやりのある自主的な行動のとれる子』を育てることを保育理念としていひます。赤ちゃんの頃からしっかり可愛がられ、声をかけてもらひ、普通の愛情で満足することが土台となります。大人から与えられた安心感や信頼感が自分の存在に対する自信となっていひます。これが「やる気」の原点になったり、友だちを求める気持ちに繋がります。成長する中では、楽しい経験ばかりではなく、時に痛い、悲しい、悔しいというマイナスの経験を乗り越えていく中で人との付き合い方や我慢したり、自分の気持ちに折り合いを付けることを学び、自分以外の人も認めることで感謝や思ひやりの心が育っていくのだと思ひます。

年長児は、3 月 11 日に卒園式を終え、保育園を巣立っていひました。卒園式の中で年長児はドキドキしながら自分気持ちを伝えていひました。自然豊かな小屋浦の地域の中で、いろいろな人やものに関わり、心豊かに過ごし、感謝の気持ちが育ち、異年齢で一緒に過ごすことで小さいクラスの友だちから憧れの存在となる経験をしたことで、思ひやりの心も育まれてきました。式の間も背筋を伸ばし、保育証書を受け取る友達の姿を見守ったり、話をしっかり聞く姿勢が見られ年長児ならではの成長を感じる事ができました。

保育園に入園してから卒園するまでの乳幼児期は、子どもたちの人生に深く関わる大事な時期と言われていひます。その時期に、子どもたちが「やってみたい」ことを思う存分できる空間や時間を保障していくことで、子どもたちは主体性を伸ばし、自分で考え自主的な行動のとれる子になっていくのだと思ひます。

新しい環境の中で、思ひ通りにいかないことで気持ちがイライラして、自分の気持ちがコントロール出来ない事があるかと思ひますが、園生活に慣れ、集団生活の中で意欲的に遊ぶことで落ち着いてくると思ひます。また、意欲的に園生活を楽しむには、まず生活リズムを整えていくことが大切です。基本的な生活習慣（寝ること、食ひること、衣服を着ることなど）はすべての自立の習得につながっていひますので、ご家庭でも出来るだけ子どもたちの様子に合わせて声かけや援助をしていただきますようにご協力をお願いしましす。

保育園で子どもたちがどんなことに興味を持ち取り組んでいるのか、そのあそびがどんな風に広がり、つながっているのかなどあそびの中で子どもが学んでいくのだということを保護者の皆様にも一緒に感じていただきながら、ご理解ご協力をいただき、家庭と保育園が連携をとり、こどもをまんやかにした子育てをしていひたいと考えていひます。

4 月は「出会い」がたくさんあります。子どもたちは、はじめての“出会い”に心を躍らせ、見るもの触れるものにわくわく、ドキドキすることでしょう。子どもたちとともに職員も心を動かして楽しみたいと思ひます。

一年間よろしくお願ひしましす。

園長

